

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月

結果公表日: 2025年3月27日

回答率

事業所職員: 6名回答、回答率 100%

保護者様: 31名回答、回答率 65%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・過度な飾りつけをせず、シンプルな室内で落ち着いた雰囲気を提供を心掛けている。
- ・職員が分散して休日を取り、適切な職員人数を配置している。
- ・室内に柱等による死角は殆どなく、トイレは広く介助が必要な児童に対しても余裕のある対応が可能となっている。
- ・緊急の場合、教室の隅、トイレへの踊り場で対応しているが、必要ならばパーテーションを設置し分離する準備ができています。

○業務改善

- ・常日頃から業務改善について、スタッフ間で相談している。
- ・会社の研修を積極的に利用し、また、研修結果を他職員に共有して教室内全体のスキルアップを行っている。

○適切な支援の提供

- ・5領域に沿って、活動が固定化されない様にプログラムを毎月スタッフ間で話し合っている。また、日々アセスメントを行い、気づいた事があればすぐにトシートに記入している。
- ・日々子供の状況や特性を職員間で共有し合い、過剰な支援にならず自己決定をする力を育てられる様な支援を考えて行っている。
- ・本年、知的障害者の外部組織である東京都フロアホッケー連盟支援の下、体験会を実施、幅広い年齢層の障害者(児)との交流が実現できている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校迎えの際にはこちらからも積極的に子供の様子を聞き、必要な場合、学校と時間を設定し、会議を行う場合がある。
- ・毎日保護者への共有を行うスタッフをそれぞれ決めて、適切な子供の状況を伝えられる様にしている。また、子供の発達状況や課題については職員間で必ず共有する様にしている。

○保護者への説明責任等

- ・契約委面談で説明を実施し、理解を深めると共に疑問点があれば、明確に回答できるよう配慮している。
- ・年2回は保護者会を開催し、職員や保護者間が話しやすい環境に配慮している。
- ・ニュースレターでの発信と共に、教室ブログを発信している。

○非常時等の対応

- ・毎月、実際の災害を想定して避難訓練を行っている。
- ・てんかんや服薬等の有無は契約時に必ず確認し、職員間で共有を行う。
- ・ヒヤリハットを毎月数件作成し、ミーティング等で必ず共有を行う。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・訓練室のスペースについて、「広くて良いと思います。」のご意見を頂いた。
- ・「職員の配置数は適切であると思いますか。」という質問に対して、8割以上の方から「はい」とご回答を頂いた。

○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。」という質問に対して9割以上の方から「はい」とご回答を頂いた。
- ・事業所の活動プログラムや支援について、「毎回楽しい企画をありがとうございます。」や、「教室の事では親以上に先生が分かってくれています。」のご意見頂いた。今後も様々な活動プログラムを企画し、1人1人に合わせた支援をスタッフ間で考え提供していく。

○保護者への説明等

- ・「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。」という質問に対して9割以上の方から「はい」とご回答を頂いた。
- ・「定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。」という質問に対して全員の方から「はい」というご回答を頂いた。また、「いつも共感して相談に乗って頂き、ありがとうございます。」というご意見も頂いた。

○非常時等の対応

- ・緊急時等のマニュアルの策定や、発生を想定した訓練について、「訓練されていると思います。ありがとうございます。」というご意見を頂いた。一方で「事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。」という質問に対して、1割の方から「いいえ」とご回答頂いた。今後は、連絡帳や送迎時、ブログ等を活用して積極的に訓練時の様子をお伝えする。

○満足度

- ・8割～9割以上の方に、「こどもは安心感をもって通所していますか。」や「こどもは通所を楽しみにしていますか。」という質問に対して「はい」とご回答を頂き、満足度が高い事がうかがえた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・集団活動時間が多く取れる、土曜日や祝日を利用して、保護者参観型の療育活動を企画していく。
- ・災害時や怪我事故発生時など、様々な場合に合わせた対応を集約し、保護者に書類で配布していく。
- ・毎月必ず行なう、避難訓練の様子をブログやニュースレターで紹介していく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・土曜日と祝日に、保護者参観型の療育活動を企画し実施する事が出来たが、保護者参加数が少なかったため、療育参観内容や実地方法を再度検討し参加数に繋げていく。
- ・災害時や事故発生時などの対応を作成し、保護者に配布・周知する事が出来た。
- ・毎月様々な避難訓練を行ったが、ブログやニュースレターで紹介する事は少なかった。来年度は、積極的に取り入れていきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・こどもや保護者のニーズに合わせ個別支援計画を作成し、支援計画に沿った支援を行う事が出来ている。
- ・活動のプログラムが固定化しない様に、毎月スタッフ間で相談をして決めているため、通所を楽しみにされている方が多い。
- ・面談や送迎時で子育てに関する助言や共感的な支援を行っている為、事業所の支援に対しての満足度が高い。

○改善点

- ・保護者会を開催しているが、保護者会について「未回答」の方が多かった。
- ・「事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。」という質問に対して、2割の方が「未回答」だった。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・療育参観・保護者会を引き続き開催し、保護者同士の連携の場を作る。
- ・非常時の対応や災害に備えた訓練の様子を、保護者に分かりやすい方法で再度周知する。

○1年間で取り組む具体策

- ・療育参観や保護者会の内容や開催方法を再検討したり、保護者会等の様子をニュースレターやブログで紹介したりする。
- ・非常時の対応を、今年度よりも細かくまとめてお手紙で保護者に周知する。
- ・避難訓練時の様子を、連絡帳や送迎時、ニュースレター等を活用し積極的に伝える。